

2024年
秋号

はやしのはなし

編集・発行 広報委員会

理念

Heartful & Healing Hospital ~ハートフル アンド ヒーリング ホスピタルとして~
私たちは常に優しさと思いやりの心もち、良質で信頼される医療の実践により心から癒される病院であることを目指します。

はやしの魅力

標語コンテスト結果発表

2024年は『はやしの魅力』をテーマに、標語コンテストの結果を前回の夏号でお送りしましたが、今回は優秀賞、佳作の発表です！

優秀賞

地域と医療をつなぐ架け橋はやし

一般病棟 宮野智子

審査員のことば

当法人の今年（令和6年度）のスローガンは「Action! 地域貢献」であるが、それに相応しいものであったことが選考委員の共感を得たのであろう。さて、行動をどう起こすか、何を念頭に行動するか、日ごろから口遊んでなければ不可能なことである。具体的な良い考えが次々に溢れ出てくれるのを祈っているが、来年には崩れ落ちる架け橋では困るのである。願わくば、俳句調、短歌調、都々逸調にして欲しかった。

佳作 *働きやすさNo1 林内科胃腸科病院 通所リハビリテーション 古市和香子
審査員のことば：プライベートも仕事もどちらも諦めたくないですね！充実した毎日を送るために「働きやすさNo1」の環境づくりに全職員で取り組んでいきましょう！

*はつらつとした職員の笑顔 やっぱり林が安心 しっかり診てくれて心も癒す 通所リハビリテーション 盛菜月
審査員のことば：笑顔、安心、癒しと当法人の理念のポイントがしっかり入った標語になっていると思います。当院はもちろん、医療人、介護従事者として忘れてはいけない大事なポイントだと思います。

*ハートがいっぱい！地域のヒーリングスポット「はやし」 一般病棟 橋元さやか
審査員のことば：「はやし」の理念と今年のスローガンである地域貢献が結びついた簡潔で心暖まる標語になっていると思います。

*はーとフル&ヒーリングホスピタルとして やさしさと思いやりの心もち しんらいされる医療の実践を目指しています 地域医療連携室 山野麻衣
審査員のことば：病院理念を病院名に上手に当てたとと思います。

*あいを届けて、心をリンク 事務部 尾辻桃子
審査員のことば：「優しさと思いやり」という理念に沿った優しい雰囲気の良い標語ですね。「あい」の言葉の中には相手を思いやる「愛」、様々な変化に気づくeye(目)、ふれ「あい」という意味が込められているようです。地域の方々と心が繋がるように、たくさん「あい」を届けていけたらと思います^^

*やさしさと思いやりをつなぐheartful & Healing Hospitalはやし 事務部 山口敏弘
審査員のことば：理念の中に今年の連携に合った「つなぐ」という言葉がうまくマッチしていますね。

◆◆◆ おしらせ ◆◆◆

令和6年10月1日より電子カルテ（外来・入院）を導入いたしました。想定外のトラブルやシステム操作の不慣れにより、ご迷惑をおかけする可能性があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

はやしのスペシャルごはん

ミキサー（ムース）

極きざみ

きざみ

一口大

ふつう



今回は入院中のお食事についてご紹介します。

入院中のお食事は治療の一環であるため、患者様の疾患や状態に合った内容に調整させて頂いています。こうした治療食を、まずは患者様に『美味しく食べてもらう』ことを第一に考えメニュー作りに取り組んでいます。こだわりのポイントとしては、味付け・食材の質・見た目（盛り付け・彩り）・量・温度・季節感・食べやすさです。病院食の味が薄い・量が少ない・まずいという悪いイメージを取っ払うべく、皆さん馴染みのある家庭料理からご家庭の食卓では珍しいアイディアメニューまで趣向を凝らしたメニュー作り日々励んでいます(^^) / なかでも『食べやすさ』は、医師・看護師・リハビリスタッフ…等、他職種と連携し患者様に適した食事形態であるかどうかを相談しながら、きめ細かく対応しています。同じメニューでも、嚙む力や飲み込む力が弱まった方にも食べやすい様に、管理栄養士・調理スタッフが食材の使い分けと調理をする際には、食材の大きさや硬さに配慮しています。当院の食事形態は、8段階（普通/軟菜/軟菜一口大/軟らか一口大/刻み/極刻み/ムース（ミキサー）/流動）に分かれています。退院後も食生活のお悩みについて一緒に考え、管理栄養士が患者様一人一人に合わせた内容で、不安が少しでも解消されるようにご支援させて頂いております。お食事を『安心・安全』に『美味しく食べてもらう』ために☆

(栄養課 くぼた)

敬老会

通所リハビリテーション(デイケア)

こんにちは。林のデイケアです。夏の暑さも和らいできました。なかなか夏の疲れがとれない時期ですね。日中は残暑が厳しいので体調に気を付けてお過ごしください。9月といえば、敬老の日！今年もデイケアでは敬老会を開催しました。職員の出し物を見て手を叩いて笑ったり、歌を歌ってくださったりと大盛り上がりでした！デイケアでは、100歳を迎えられた方が3人いらっしゃいます。長生きの秘訣をお聞きすると「いつも笑う」「笑顔が大切」「くよくよしない」「怒らない」とお言葉をいただきました。私達もこの言葉を胸に日々頑張ります。(はるた・ふるその)



はやしの介護



山口写真館

あの人気コーナーが復活！
当院職員の山口が現場で撮影した
季節を感じる景色やお祭りなど♪
写真・感じたことを記しています



太鼓踊り



薩摩川内市高城町の高城神社で太鼓踊りと虚無僧(こむそう)踊りが奉納されました。
太鼓踊りは、1606年神社創建時に奉納された舞楽が起源とされ、勇壮で優雅な独得の踊りが披露された。
虚無僧(こむそう)踊りは、1830年頃上方から行脚してきた僧が子女に教えたと伝わる。
虚無僧姿と紫頭巾の女性たちが優雅に踊りました。

虚無僧踊り



さつま町中津川大石神社秋季大祭「金吾様踊り」が開催されました。
「金吾様踊り」は織田、豊臣時代に祈答院島津家初代・金吾(左衛門督)歳久を祀る「大石神社」に奉納される踊りです。
今回は、4つの踊りを紹介します。

俵踊り



兵児(へこ)踊り

参勤交代の長い工程を苦勞しながら往復した兵児たちが、士気を鼓舞し楽しい旅にしようと、夜の酒宴で踊ったといわれています。



鷹刺し踊り

鷹狩の袖須を踊りにとりいれ、祭りや殿様の領内巡りの時、武軍長久と領内安堵、領民の安全を祈って踊るようになったといわれています。



虚無僧踊り



記事 やまくち

はやしの 部署自慢

第3回目の部署自慢は3階病棟(療養病棟)です！
「療養病棟」とは病状が比較的安定しているが、引き続き医療的なケアや病院での療養を必要とする方を対象とし、医師の管理下で看護、介護、リハビリテーションなどの必要な医療を受けることができる病棟です。



私達の療養病棟は、慢性期で日常的な医療ケアが長期に渡って必要な患者様を主に看護しています。
在宅復帰を目指せる方もいますが、自宅や施設での生活が難しい患者様も多くいらっしゃいます。
そのような言葉が話せず、通常の食事も食べられない、身体を自由に動かす事もままならない患者様の想いを、僅かな表情の変化や、雰囲気できみ取れる細やかな目と心が必要だと感じます。
皆でそんな細かい患者様の変化を問題提起して、一丸になって話し合える熱意がある事が良い所だと思います。

